三輪 白樺学園 大会新V

男子1500

全国高校スケートアイスホッケー

W杯代表小田（山形中央）を下す

【長野】全国高校総合体育大会（インターハイ）・第60回全国高校スケート競技選手権大会は21日、長野市のエムウエーブでスピードの最終日、軽井沢町の風越公園アイスアリーナなどでアイスホッケーの第2日の競技を行った。スピードは午前に男子1500㍍を行い、三輪準也（白樺学園2年）が1分50秒35の大会新記録で初優勝を果たした。小坂龍（同2年）は4位、磯賢汰（帯農2年）が6位に食い込んだ。アイスホッケーは2回戦を行い、清水は渋川工（群馬）に27―0で圧勝し、準々決勝進出を決めた。初戦を迎えた白樺学園は第2ピリオドを終え苫小牧工に3―0でリードしている。20日のスピードは2種目を行い、女子3000㍍は高木菜那（帯南商3年）が4分19秒83で準優勝。高橋菜那（白樺学園2年）は4分20秒51で3位だった。男子1万㍍は土屋良輔（嬬恋1年）が13分53秒82の大会新記録で優勝。十勝勢は久保渉吾（池田1年）が4分19秒24の大会新記録で優勝した。男子1万㍍は土屋良輔（嬬恋1年）が13分53秒82の大会新記録で優勝。十勝勢は久保渉吾（池田1年）が4分19秒24の大会新記録で優勝した。高山梨沙（駒大苫小牧2年）が4分20秒51で3位だった。高橋菜那（白樺学園2年）は4分19秒83で準優勝。

（高橋宏幸、塩原真）

【男子1500㍍】大接戦を制し、リンクサイドのチームメートらとタッチを交わす三輪準也

スピード　攻めの姿勢貫き ライバルを撃破

三輪

○…W杯前半戦を転戦した小田卓朗（山形中央3年）、アジア大会代表の近藤太郎（駒大苫小牧1年）とシニアでも結果を出している強敵がひしめく男子1500㍍で三輪準也が頂点に。2位と0・12秒差、3位とも0・66秒差の大接戦を制した。

初日の500㍍2本目のスタートの際に腰を痛めて万全ではない中のレース。もともと1500㍍は苦手で、「ラップの予定も立てず、とにかく全開で攻めよう」と無心で臨んだ。スタートから全力で飛ばし、入りは出場選手で唯一となる23秒台。500㍍を過ぎた辺りで早くも足に疲労を感じたが、入りでつけた加速に乗ってラップタイムをキープ。スピードを最後まで落ときずにフィニッシュした。

「最初の突っ込みが良かった」と三輪。攻める姿勢が結実した。

今季の1500㍍は全日本距離別、ジャパンカップ（第1、2戦）、全日本選手権と主要大会のほとんどを今回の上位3人が制している。実力者2人を抑え、「正直勝てると思っていなかったのですごくうれしい」と喜びをかみしめながら、「将来的にはみんなで高め合って世界で上を目指していきたい」とライバルたちと切磋琢磨（せっさたくま）し世界との距離を縮める決意を見せた。

女子3000

高木菜（帯南商）準優勝

【女子3000㍍】4分19秒83の自己ベストで2位に入った高木菜那

納得の自己ベスト更新

「自分のレースできた」

ラスト2周が35秒台になってしまった点に少しだけ不満を残しながらも、自己ベストを更新する滑りに「最初から自分のレースができた。1位は取れなかったけれど良かったと思う」と本人も納得の出来だった。

全日本ジュニアでは第3種目の1000㍍で走路妨害となり失格。残念な終わり方で世界ジュニア出場を逃したが、高校最後の大舞台へ向けて「考えすぎないで、自分の滑りができればいい」としっかり気持ちを切り替えた。今大会最初のレースは上々の内容で、最終日の1500㍍と2000㍍リレーに弾みがついた。高木は「次も焦らず自分のレースができればいい。リレーは優勝します」と力強く言い切った。

わずか0・59秒差で頂点にとど届かなかったものの、高木菜那は気迫のこもったレースを見せた。

得意とする屋内リンクで、「最初はあまり速く入らないで最後まで落とさずにいこう」とスピードの持続を心掛けた。600㍍通過時点で1組前の高山梨沙とは約2秒差。しかし、そこから1400㍍までの2周を33秒台、1400～2200㍍の2周は34秒台で持ちこたえ、2200㍍時点で約0・5秒差まで追い上げた。残りは2周。東出俊一監督の「上がり勝負だぞ！」という檄（げき）を背に懸命に足を動かしてフィニッシュした。

清水ベスト8進出

渋川工に27―0　晒谷凌、松本、石﨑ハット

アイスホッケー　難敵埼玉栄から 値千金のゴール

清水・今野

○…攻撃の〝中核〟今野友尋（2年）が清水に勝ち星をもたらした。

同点で迎えた第3ピリオド17分、今野がゴール左側のほぼ真横から放ったシュートはキーパーの足に当たり、ゴールに吸い込まれた。終盤に少ないチャンスを生かした値千金のゴールに今野は「これまでにないようなシュートでびっくりした」と驚きを隠さない。

しかし、高橋仙人監督は「試合は勝ったが、プレーでは赤点」と渋い表情。持ち味の堅い守りをうまく崩され失点してしまうという課題が残った。今野は「攻めだけでなく守りもしっかり加われれば」と次戦に向けて気を引き締めていた。

◇2回戦（21日・風越アリーナ）

清水 27（9―0、6―0、12―0）0 渋川工（群馬）

▽得点者【清】①晒谷凌（1P1分14秒）②晒谷和→晒谷凌（1P1分53秒）③今野→梶原（1P3分46秒）④阿部→松本（1P4分56秒）⑤今野→晒谷和（1P7分8秒）⑥間山→晒谷凌（1P13分38秒）⑦中口→馬渕（2P1分52秒）⑧川村→脇本（2P3分46秒）⑨藤原→山﨑（2P3分58秒）⑩大澤→石﨑（2P8分4秒）⑪大澤→定岡（2P8分47秒）⑫水上→松本→阿部（2P9分15秒）⑬水上→川村（2P11分40秒）⑭定岡（2P13分7秒）⑮脇本→松本→阿部（2P19分11秒）⑯阿部→川村（3P3分54秒）⑰川村→脇本（3P6分13秒）⑱間山→晒谷凌→石﨑（3P8分19秒）⑲山﨑→定岡→中口（3P12分30秒）⑳中口→大澤（3P13分33秒）㉑梶原→晒谷和（3P14分48秒）㉒藤原→定岡→中口（3P15分40秒）㉓晒谷凌→間山→石﨑（3P16分18秒）㉔川村→松本（3P16分33秒）㉕阿部→大澤（3P18分13秒）㉖松本（3P18分51秒）㉗中口→山﨑（3P19分56秒）

【1回戦・清水―埼玉栄】第2ピリオド7分、2点目を挙げて喜ぶ清水の今野友尋（右）と間山慎也

ラップ伸びず 「全然だめ」

高橋

○…女子3000㍍3位の高橋菜那は「全然だめで言葉が出てこない」と無念の表情。タイムは国内の自己ベストながら、目標の20秒台突破はならず。世界ジュニア代表としてのプライドを結果で示せなかったことにも、「1位にならないといけなかった」と悔しさをあらわにした。

ラップを保とうという意識がマイナスに働き、力を抜き過ぎて600㍍以降のラップが思うように伸びなかった。3000㍍は高校入学後に始めて今季で2年目。「去年までは楽しい経験ができたが、今年になってからは難しいなと思う」と壁を感じている。1500㍍も再び高山梨沙、高木菜那の2選手とともに頂点を争う。高橋は「絶対に勝って表彰台の真ん中に立てるよう気持ちを切り替えたい」と次のレースを見据えていた。

フィギュア

【女子】◇総合成績＝①今井遥（日本橋女学館）150・82②上野沙耶（大阪薫英女学院）135・05③河野有香（倉敷翠松）132・48

（21日・7位以下関係分）

【男子】▽1500㍍（カルテット）

日本高校記録	土井　槙悟（白樺学園）	1分47秒33
大会記録	中嶋　敬春（佐久長聖）	1分52秒67
①三輪　準也（白樺学園）		1分50秒35
②小田　卓朗（山形中央）		1・50・47
③近藤　太郎（駒大苫小牧）		1・51・01
④小坂　龍（白樺学園）		1・52・03
		＝以上大会新
⑤由井　篤樹（佐久長聖）		1・53・60
⑥磯　賢汰（帯農）		1・54・11

⑨小川翔也（池田）1・54・74⑰関井翔太（帯南商）1・55・75⑲山澤諒（池田）1・56・57⑳居城和樹（帯南商）1・56・65㉑下坂和彦（帯三条）1・56・78㉚中山航（同）1・59・23㉜田中康裕（帯農）1・59・65

（20日・7位以下関係分）

【男子】▽1万㍍（カルテット）

日本高校記録	平子裕基（白樺学園）	13分27秒88
大会記録	宮崎今佐人（嬬恋）	14分7秒73
①土屋　良輔（嬬恋）		13分53秒82
②佐藤　裕斗（釧路明輝）		13・57・32
③中村　奨太（駒大苫小牧）		13・58・43
④田中　洸司（苫小牧工）		14・4・37
⑤大林　昌仁（佐久長聖）		14・5・53
⑥三村　亨太（釧路北陽）		14・7・49
		＝以上大会新

⑩久保渉吾（池田）14・24・30⑪中野誠（白樺学園）14・24・97⑬小川新太（同）14・29・32⑭齋藤紘彬（帯南商）14・30・16㉑寺町巧（帯農）14・57・56㉚金野樹（池田）15・19・34㉜田中康裕（帯農）15・24・27㊵松浦孝則（帯三条）15・57・88

【女子】▽3000㍍（カルテット）

日本高校記録	石野枝里子（白樺学園）	4分9秒26
大会記録	小原　悠里（白樺学園）	4分24秒56
①高山　梨沙（駒大苫小牧）		4分19秒24
②高木　菜那（帯南商）		4・19・83
③高橋　菜那（白樺学園）		4・20・51
④池田千奈美（駒大苫小牧）		4・22・19
		＝以上大会新
⑤樋　沙織（嬬恋）		4・25・88
⑥朝倉　由佳（東海大三）		4・27・69

⑦山田真以（帯三条）4・31・36⑰阿部美沙希（白樺学園）4・37・61⑱新田萌（帯農）4・38・42⑲高山夏季（同）4・39・78

（リンクコンディション＝室温12.9度、氷温マイナス4.0度、湿度36％、気圧970hPa、20日午後2時20分現在）

◇1回戦（20日）

清水 4（2―0、2―1）2 埼玉栄

▽得点者【清】①梶原（2P7分19秒）②晒谷和→間山（2P7分52秒）③間山→晒谷和→今野（3P17分29秒）④晒谷和→晒谷凌（3P19分35秒）

【埼】①木戸→今橋（1P19分59秒）②青木→江口→右川（2P3分35秒）

▽反則【清】6（間山、晒谷和、チーム、松本、山崎、阿部）【埼】3（江口2、石川）

▽シュート数【清】51（13、16、22）【埼】32（5、18、9）

苫小牧工 18（7―0、7―0、4―1）1 篠原（光・滋賀）

▽得点者【苫】①篠原（1P1分14秒）②篠原→晒谷凌（1P1分53秒）③篠原→晒谷和（1P3分46秒）④篠原→晒谷和（1P7分56秒）⑤篠原→晒谷凌（1P13分8秒）⑥篠原→晒谷凌（1P13分38秒）⑦篠原→晒谷凌（1P13分46秒）⑧篠原→晒谷凌（1P13分52秒）⑨篠原→晒谷凌（2P3分58秒）⑩篠原→晒谷凌（2P8分4秒）⑪篠原→晒谷凌（2P8分47秒）⑫篠原→晒谷凌（2P9分15秒）⑬篠原→晒谷凌（2P11分40秒）⑭篠原→晒谷凌（2P13分7秒）⑮篠原→晒谷凌（2P19分11秒）⑯篠原→晒谷凌（3P3分54秒）⑰篠原→晒谷凌（3P6分13秒）⑱篠原→晒谷凌（3P8分19秒）⑲篠原→晒谷凌（3P12分30秒）⑳篠原→晒谷凌（3P13分33秒）㉑篠原→晒谷凌（3P14分48秒）㉒篠原→晒谷凌（3P15分40秒）㉓篠原→晒谷凌（3P16分18秒）㉔篠原→晒谷凌（3P16分33秒）㉕篠原→晒谷凌（3P18分13秒）㉖篠原→晒谷凌（3P18分51秒）㉗篠原→晒谷凌（3P19分56秒）

▽反則【苫】0【篠】2（寺澤、篠原）

▽シュート数【苫】130（42、55、33）【篠】2（1、1、0）

水戸短大付（茨城）4（2―0、2―0）1 盛岡中央（岩手）

早稲田実（東京）17（6―0、8―0、3―0）1 富士北稜（山梨）

渋川工 16（7―0、5―0、4―0）0 岡山理大付

慶應義塾（神奈川）4（1―1、1―1、2―1）2 関大一（大阪）

八戸工大一（青森）6（2―3、3―0、1―2）3 北海道栄

武相（神奈川）7（2―2、2―0、3―0）0 八戸工（青森）

八戸商（青森）10（3―0、1―3、2―2）3 長野工

釧路江南 11（6―0、3―0、2―0）0 龍谷富山

北海 5（2―2、3―0、0―0）2 軽井沢（長野）

防災・防犯設備 ご相談はフジ防災 電話23-8787 24時間受付中

かちまいスポーツ
記録の速報は▶kachimai.mobi
写真がほしい▶TEL0120-25-9410
Eメール▶sports@kachimai.co.jp
ファクス▶0155-25-2700

22回戦
白樺学園
苫小牧工 18
光泉 2
埼玉栄 2
清水 4
27
0
渋川工 16
岡山理大 0
日光明峰
盛岡中央 1
水戸短付 4
早稲田実 17
富士北稜 1
東北
武修館
関大一高 2
慶應義塾 4
八戸工大一 6
北海道栄 3
武相 7
八戸工 0
八戸商 10
長野工 3
龍谷富山 2
釧路江南 11
北海 5
軽井沢 2
駒大苫小牧

23回